

めだかの学校だより

令和4年11月1日
第117号

学舎：周智郡森町
「一宮総合センター」
事務局：静岡県磐田市
家田 529-20
TEL:0539-62-6691

校長訓話

第一一七回 校長 宮澤 博行

9月23日深夜から24日未明にかけての台風15号で被災された皆様には心からお見舞いを申し上げます。

特に私たちが活動の場としていた豊岡東・敷地地域において堤防決壊、床上浸水、土砂崩れなどの甚大な被害があったことは、同じ地域に住む私たちが共有しなくてはならない苦しみだと思えます。

一日も早い復旧と、より強靱な国土づくりを目指した復興を願うとともに、職責としてもそれに邁進することをお誓い申し上げます。

さて、私の高校の同窓会には関東支部というものが、毎年11月に総会・懇親会を開催しております。今年度は私たちに当番年次が回ってきたの

ですが、コロナ禍の2年間は中止とウェブ開催でしたので、リアルでの開催は3年ぶりとなります。感染対策を施しながらも、なるべく多くの同窓生に集まってもらいたいと、仲間と共に頑張りました。

世代を超えて青春時代を懐かしむのはいいですね。確かに同じ「空間」で生活しました。それは異なる時代であるのに、あたかも同じ「時間」を共有したかのような錯覚に陥るのは不思議です。それが同窓会の良いところなのかもしれません。

しかし、「ああ、楽しかった。」で終わりがたくなってしまうのは私だけでしょうか。かつては先輩から、「何か講演をしてもらって知的な財産にしよう。社会人としての糧にしよう。」とされた時期もありました。

今回の同窓会は、ビジネスや就職活

動に役立つようなものにするというのをコンセプトにしました。いわゆる「実利」がなければ、忙しい20代から50代を引き付けられないのも現実です。

しかしその一方で、「実利」を追い求めるあまり「楽しさ」を忘れてしまっているような活動もないわけではありません。それって、結局、疲れてしまいますよね。

「ああ、楽しかった。」それがスタート、それがゴール。要するに「楽しさ」が全てです。

さあ、めだかの学校！今日も「ああ、楽しかった。」を持ち帰りましょう。



めだかの学校伝言板

第117回めだかの学校を開校するので出席しなさい。

校長／宮澤博行

教頭／大島たまよ

用務員／八木義弘

給食係／※給食は取り寄せです。

<学舎>静岡県周智郡森町一宮 3150

「一宮総合センター」

※今回は学舎が「旧豊岡東小学校」から「一宮総合センター」に変わっています。

開校日／令和4年12月3日(土) AM11:30 受付
受付／大場敬子・大橋町代・榊原幸雄(後見人)

30期通年テーマ：『めだかの学校30年 さあ これからもいかまい!』

今回のテーマ：<<語り継ぐ防災・防念して忘年しよう>>

<時間割>

●1時間目 社会

「九死に一生?あなたならどうする...?」秋山勝則先生

●2時間目 音楽

「ゆうころん and うめちゃん」石野裕子先生

●給食の時間はあります。取り寄せです。

※コロナがまだ収まっていません。手洗い、消毒、マスク、検温をして3密は避けて下さい。 PM3:00 閉校

めだかの動き

泳ぎ回るめだかたち

■凄!!台風15号による線状降水帯、静岡県中西部に大雨を降らす

9月23日夜から24日早朝にかけて、静岡県中西部に大雨を降らせた線状降水帯、各地に大きな被害をもたらした。私が住む磐田市では床上浸水299件、床下浸水474件、また主要道路、施設の冠水も。日を追って調査すればまだまだ増えるかも。今回は特に磐田市北部の豊岡地区に被害が集中しているようだ。磐田市内から天竜に抜ける主要県道の東側、平松地区の350m、神増地区の250mほどが崖崩れを起こし、大量の土砂が住宅や道路に流れ込む。道路は大量の土砂で埋め尽くされた様子だ。通行ができるようになるのは10月末のようだ。またその北部地域では川の水が溢れ、床上浸水や床下浸水が発生。北小学校では一階が水に浸かり、2日間学校が休校。南側のコンビニにも水が入り、前の道路では何台かの車が水に浸かって立ち往生していた。

山をへだてた東地区では、敷地川が溢れ、旧東小学校東側100mぐらいの左側に大きくカーブしたところが決壊。下流域の十数件が濁流に巻き込まれ、泥水が家中に流れ込む。床上浸水もいところ。その下流の森町に抜ける道路の橋は、流木などが絡まりV字型に折れ曲がる。

土曜日の朝、減水した敷地川沿いを歩いていくと、決壊した土手はザックリと大きく切れ、農地と家の庭が川底と同じ平らになり、泥の中には大きな丸太がゴロゴロし

ている。また手前の橋桁や手すりには太い流木や草がへばりつき、左に溢れた水が土手をえぐり、民家の方へ流れ込んだ形跡が…。もうすぐ収穫を迎える治郎柿の畑は30cmほどの土砂で埋まっている。歩いてみればみるほどひどい。静岡市に住んでいた頃、近くの天上川の瀬名川が決壊し、濁流に見舞われた49年前の七夕豪雨を思い出す。まさに人ごとではない気持ちになる。真っ先にとんでいって手伝えたいが、今の体力では…。そんなところへ三輪邦子元メダカから「バラさんのところ大丈夫？早速、ボランティアセンターを立ち上げて、災害ボランティアの募集と地域分けを始めているから…」の電話が。

翌々日火曜日、豊岡東交流センターにいくと、災害ボランティアの人たちがぞくぞくと集まり、リーダーの指示を受けていた。「バラさん！」と声をかけられた。山下安範メダカだった。「いや、疲れた」と、昨日から動き始めてくれていたようだ。そのあと毎日のように来てくれていた。またボランティアの拠点である社会福祉協議会では大杉昌弘メダカが奮闘している。秋山勝則メダカは、「敷地川が危ない」の緊急避難情報を聞き、23日の夜から情報収集・伝達にかけまわり、途中、車が浸水し命からがら逃げ出し、やつのことでもしや降りの雨の中、歩いて帰宅したと。翌日からも大車輪で被災地を回り、宮澤博行メダカも来てくれてたよと。私のところに寄ってくれた。もちろん市長の草地博昭メダカは、被災地を回り状況を把握し、話を聞き、「陣頭指揮」している。若き市長は逞しい。何人かのめだか生に電話するが大丈夫のようだった。ただ、磐田市岩室の福田久美子メダカのセカンドハウスの東側

で家より1m離れたところで大きくガケ崩れを起こしていた。北海道の船木耕二さんはじめ何人かのめだか生から安否確認の電話をいただきました。私のところは大丈夫でした。ありがとう！

それにしても多くのボランティアのたちが毎日のように被災地に入って、家中の泥まみれの家具や電気製品などを持ち出ししたり、家の中に積もった泥をはき出してくださっている姿にはただただ感謝するばかり。また地域の若い人たちも動いてくれていたことも嬉しい限りです。『あらためて今いちど、防災や山のありようを考えなおさなければ』と言った秋山勝則メダカの言葉が印象に残っている。

…ということもあって、12月の第17回めだかの学校の授業は、秋山勝則先生となりました。

※追伸 芦川和美メダカは台風で汚れた福田海岸をサーフィン仲間と清掃活動、田村進治メダカは被災した知人の応援にかけつける。小山展弘メダカは視察にきた農林水産副大臣につき添う。「エツ、私も」の方はごめんね！



■進ちゃんバラちゃんの合わせ163歳長崎へ珍道中!

第38回全国地域づくり団体研修交流会が11月4日(金)〜6日(日)までの3日間、長崎県で開催された。『長崎』は行ってみたくったところ。妻の明美さんに話したら「行ったら」と言う。但しひとりではダメ!田村進治メダカに話したら、優しい奥様ふたり『バラさんとなら』、『田村さんとなら』とOKしてくれた。そんな訳で、82歳と81歳の長崎への珍道中!?!。お土産話は次回の「めだかの学校だより」で、お楽しみに。(バラメダカ)

■第34回いなさ人形劇まつり

浜松市北区引佐町では、11月12日(土)〜13日(日)に引佐協働センター周辺を会場に、プロの人形劇団や地元のアマチュア人形劇団が出演して、人形劇まつりが開催された。

今回はコロナ感染に配慮しつつ、観客を入れての公演でした。プロ劇団では、劇団はてな、京芸、ひとみ座、糸あやつりのみむしや、静岡県の茶間屋シヨゴ、人形劇団わにこなど。地元の小学生劇団やアマチュア劇団が参加し、楽しい人形劇まつりでした。この人形劇まつりの立ち上げには、当時の商工観光課長の伊藤茂男さん、静岡新聞・静岡放送事業部長の平山豊さん、同社の社員で静岡県人形劇協会相談役・人形劇センター役員の榊原幸雄さん、それと当時の首相の竹下登さんが絡まっています。竹下さんは1億円のうち200万円を人形劇まつりにまわしてくれました。まだ「めだかの学校」は生まれてませんが、言い出しっぺ3人の名前が…。いや、いろいろありましたが、面白かったですよ。(バラメダカ)

■豊岡東交流センター「文化祭」

磐田市敷地の豊岡東交流センターでは、

今年も11月19日(土) 9時〜16時半、20日(日) 9時〜15時の2日間、文化祭を行います。会場の体育館には、絵画、陶芸、彫刻、生け花、フラワーアレンジメント、手芸や写真、幼小中生の作品などが展示される。お楽しみ『福引き』もある。ロビーでは、20日(日) 10時から14時まで、リンドンパウムのコーヒーショップも。バラちゃん夫婦がやっています。遊びに来てね。問合わせは、豊岡東交流センター0539・62・6669へ。

■菅原敏一さんからカンパ頂きました

東京都東久留米市の菅原敏一メダカ。「めだかの学校」からは謝礼はいただけません。そのままお返ししては失礼ですので、気持ち足してカンパさせていただきます。私の世代は「少年よ！大志を抱け」と言われて育ちました。東京に出て何事か成し遂げ、故郷に錦を飾ることを奨励する空気に満ちていました。書道の時間に「挑戦」と書く生徒も多かったと思います。武ちゃんのように家業の陶器屋さんを継ぎ、地元のお祭りのために走り回る生き方に敬意を払わない時代でした。しかし昨年大病してつくづく感じたのですが、自分に与えられた役割を誠実に真面目に果たす以上は何もないということです。

引佐町の「つみくさ」にお邪魔してから多くの時間が流れました。立派な生き方をしている多くのめだか生とも知り合うことができました。感謝しています。だって。

■クラウドファンディングに残したい「静岡県報徳社事蹟」

明治39年に発行された「静岡県報徳社事蹟」という本があります。当時県内にあった報徳社の歴史や活動について記し

たもので既に絶版になっており、入手も困難な状況にあります。静岡県は、関東で農村復興を成し遂げた二宮尊徳翁の教えに報徳を、農業は言うまでもなく商業、工業、金融業に活かした地域です。その活動の主体が報徳社であり、「報徳結社の方法によつて最も善良な発達を遂げて、翁(二宮尊徳)の理想が大いに行われているのは、我が静岡県(静岡県報徳社事蹟)」でした。この足跡を後世に残していかななくてはならないと神奈川県福進一氏とこの本を現代語に訳し、コラム欄でエピソードを紹介するなどした「訳注静岡県報徳社事蹟」出版します。現在、下記サイトにてクラウドファンディングにより支援者を募集しています。

この本の一部は県内の図書館などに寄贈させて頂きますが、市販はされませんのでこのクラウドファンディングを通じてお求めいただければ幸いです。この活動を通じて地域づくりの先駆となった報徳活動を広く知っていただきたく、御支援をいただけたら幸いです。

クラウドファンディングのURLは、
<https://camp-fire.jp/projects/view/623220>

支援者へのリターンは、1000円「訳注 静岡県報徳社事蹟」一冊。このほか5000円以上、10000円以上リターンあり。サイトをご覧ください。

締め切りは、11月25日、問合せ先、090・7854・9725 (村松メダカ)



『人・ひと・ヒト…だより』

●東京都中野区のかまちよしろうメダカ。和気あいあい、今までどおりみんな仲良く、楽しんで学校生活送りましょう。長生きしようぜみんな。来年はライフワークでもある”犬サブレ活動”を活性化させて、とりあえず第2弾の犬サブレ「黄色」を出版させたいと思っています。CD付きで(笑)、犬サブレ「黄色」楽しみですね。

●飯田市南信濃の玉置洋一メダカ。休業が続いている飯田市南信濃の市営温泉施設「かぐらの湯」と「道の駅遠山郷」の施設運営を住民10人が出資して、2025年に営業再開の方向で進める。飯田市長も三遠南信道全面開通を見据え「県の南の玄関口として、どういう観光拠点にするか考えていく」と前向きだ。いや〜いいねえ。『玉置ちゃん、温泉入りに来たヨ!』泳ぎに行こう。メダカ温泉に入る!! ナンチャツテ(笑)。

●千葉県習志野市の市原実メダカ。コロナ感染拡大で、また自宅籠もりが始まってます。「全国まちづくり交流会」は、高知県馬路村で開催され、私も行ってきました。中心となる東谷望史さんも終わってほつとされていたようです。来年は与論島、その次は徳島県勝浦町で、これで終了のようです。だって。全国まちづくり交流会も高齢化が進んで、第20回で終了ですか。「めだかの学校」は、行けるとこまで行こう! デスね。

●静岡市清水区の花井孝メダカ。雨二モ負ケズ、暑サニハ負ケタ…!。又々、大麥オモシロイ企画です。9月28日山梨の笛吹市。黒駒勝蔵出身地の皆さんと清水の次郎長とのフォーラムを甲府市で開催。私が制作したコピーは「悲願60年中部横断自動

車道で結ばれた兄弟仁義 俠客・次郎長VS志士・勝蔵の21世紀令和最大の手打ち式」。コンセプトですが…。また、着地点を報告します。だって。さすが花井メダカ。言うこととやるのが凄いいぜヨ。

●磐田市の島田尚子メダカ。「めだかの学校だより」楽しみにしています。コロナ禍にあっても欠かさず発行され、誌面に目を通せば変わらず活動されているメダカ生の皆さんに励まされます。それにしても神原さんも皆さんもスゴイ!!。喉というか声というか、相変わらず問題を抱えたりして。欠席中とは言え「めだかの学校だより」のおかげで、メダカ生の一員であるという刺激と元気を勝手に頂いています。だって。このように言っていたら、頭を抱える時もあるけど嬉しいね。

●浜松市春野町の尾上美智子メダカ。めだかの便り、いつもご苦労様です。完成しない田舎暮らしです。皆さんにお会いして新しい空気を頂きます。だって。足下の野の草花と共生しつつ、地域にしっかりと根を張って頑張っている姿勢は素敵ですヨ。第116回めだかの学校では、教壇の横にスキヤオミナエシ・ワレモコウ等、和の草花を飾ってくれました。感謝!

●磐田市の今村純子メダカ。いつもお世話様です。年を重ねて大変恐縮ですが、もう少しばらばらしくお願ひします。農林大学との敷地の原稿間に合わなくて気持ちはかり焦っています。家中の雑用が次々発生し、一人で天手古舞の日々です。だって。「天手古舞」当て字のような漢字に見えますが、国語辞典で確認しました。まさにテントコマイです(笑)。

●浜松市の藤野はつえメダカ。長らくめだかの学校を休業させていただいて、十数年ぶりに関わらず、皆さんに暖かく迎えていただけて嬉しく思います。お休みしている

間もめだかの人達が直く直くお店に来て
いただいた、ずっと繋がっていたのも感
謝・感謝、ありがたい限りです。今回菅原
先生に会えるのも楽しみにしています。春
の鈴木正士さんのお茶摘みの際、二次会に
同席させてもらってお話できて良い思
い出になりました、だって。榊原さんの熱
意に感謝とも。いや、嬉しいですね。何
年も経ってもつながっていられて、ホ
ントいいですね。こうしたお手紙をいた
くと続けることの励みになります。あり
がとう！

●磐田市の山下安範メダカ。移動制限のな
い夏です。コロナウイルスの万延で大変な
三年間です。これからどうなるのか？草地
市長までも感染してしまいました。東京オ
リンピックから1年。10月16日にはレガ
シーハーフマラソンが東京で開催されま
す。東京マラソンに続いてポラントニアに
行ってきます。ジュビロマラソンも11月
20日に開催されます、だって。いや、
相変わらずポラントニア活動頑張ってます
ね。あ、そうそう9月23日夜から24日
朝にかけての台風15号の大雨による被害、
特にひどかった豊岡地区にも入って頑
張ってくれました。ホントにありがとう！
●袋井市の山中幸子メダカ。不安材料が
いっぱい報道や、同年代の人の他界、施
設にお世話になったり、ひとり暮らしを寂
しく送っている友人、コロナ禍の不自由さ
の中、まだ自分は幸せなんだと感じてい
るメダカものび泳げる様になると、いい
ですね。夏が来ると「冬がいい」、冬が来
ると「夏がいい」、大粒の汗を流しての庭
の管理は？。いつまで続けられる事か
(つぶやき)、だって。ホント、今年の夏も
暑かったねえ、コロナも未だ収まらず困
たものですよ。

●周智郡森町の太田康雄メダカ。8月15

日に4年ぶりとなる森町納涼花火大会(森
町商工会主催)が行われました。感染防止
策をとった上での開催ですが、久しぶりに
多くの人たちのウキウキワクワクする様
子を見ることができました。徐々にイベ
ントを再開していきたいと考えています、
だって。テレビで新潟や大曲の盛大な花火
大会を放送していたけど、小さくてもやっ
ぱり生がいいですね。

●浜松市佐久間町の山田修平メダカ。「縁
側力フエ」では、今夏は例年にくらべてお
客様が多いのでびっくりしています。(コ
ロナの関係かも?)ただ今年のイベントは
全て中止となってしまい残念です。来年こ
そ元にもどればと思っています。だって。
山形のいも煮の写真、カフェで出していま
す、と。縁側でいも煮を食べる…いいです
ね。みなさまもお出かけを!。TEL 0
53・987・2320デス。

●浜松市の城内実メダカ。バラさんお元
気ですか?。なかなか参加できなくてごめん
なさい。そろそろむかしがなつかしい年頃
(?)になってきました。引佐町を通るとふ
と思ひ出します。「めだかの学校も30年、
もはや伝統校ですね」、みなさまによろし
くお伝え下さい、だって。学舎「つみくさ」
があったところは今は太陽光発電のパネ
ルが並んでいます。面影はありません。時
のながれですねえ。ハイ。

●神奈川県小田原市の溝口久メダカ。L I
NEで、小田原の畏友義田武夫さんがPH
Pから本を出版しました。本の帯を書いて
くれないかとのリクエストに応えたので
すが、「まちづくり請負人」として知らぬ
人はいないと修飾され赤面もんです。本
の中身は相当に面白いです。AMAZONで
購入できます。是非手にとって一読いた
ければと思ってお勧めします、だって。本
の表紙写真には『まちおこしは総力戦で挑

め』葦宮武夫。帯には「まちづくり請負人」
として知らぬ人はいない、溝口久さん(茨
城県境町参与)絶賛!と確かにある。どう、
久メダカ絶賛だぜ、読んで教えて!。デス
ヨ。ハイ。

●浜松市の村木謙式メダカ。こちらから見
る(ハガキの表面)。手紙を書かない人がま
さかの手紙を書きました。異常があった事
に間違いのないので裏も見てね(はてさて)
こんにちはです。いつもありがとう(ござい
ます。昨年来、前立腺ガンの様子を見てき
ました。先日検査の結果、「ガン様」が治
療してほしいと血液中にも申しましたら
い、と先生の判断がありました。9月2日に入院
対抗する事となりました。9月2日に入院
し一晩泊まってマーカーを入れ、サイバ
ナイフとか言うので戦争する事となっ
ていますので、戦いは10月いっぱいです。
それが終わったら「出席」できるかも?で
す。それまで当分の間オヤスミかな。ヨ
ロシク!。だって。いや、ガン様と戦争か、
国と国の戦争はダメだけど、こちらの戦争
はいいね。フレ〜フレ〜村木!!。

●浜松市引佐町の鈴木計芳メダカ。コロナ
やウクライナ、異常気象、事件、事故など
いいニュースは少ないけど、何とか自分な
りにがんばるしかないですね。9月3日出
席です。いろいろな話が聞けるのを楽しみ
にしています。うめたさんと歌うこと約束
しました、だって。授業が始まる前に、埋
田メダカがギターで演奏して歌ってまし
たね。菅原先生のお話も良かった、と後日
電話がありました。

●袋井市の大橋町代メダカ。いつもありが
とうございます。おさまらないコロナ!今
のところ元気に過ごしております。書の活
動も規模縮小ながらほぼ例年通りしてお
ります。だって。まさに書家。ハガキの文
字も肩に力はいっておらず、スラスラと、

いいねえ。こちらには肩に力はいりすぎ
て、ゴチゴチとデスヨ。いつも受付を、大
場敬子メダカと引き受けてくださり感謝
感謝です。ありがとう!

●磐田市の井上啓子メダカ。いつもめだか
の学校だよりをありがとう(ございます。感
謝です。皆様のご活躍すこいなあ〜と拝見
しております。コロナ禍の中、大変な事も
あるかと思いますが、前に向かって、笑い
とともにですね。だって。いやいや井上さ
んも凄〜いのひとりかも。毎月、健康情報
や旬の食材を使った健康レシピを手書き
でB4、2頁のミニ情報紙を発行している。
たいしたものですよ。ハイ。

●三島市の野村諒子メダカ。コロナが少し
落ち着いた時期に、森林組合の視察研修で
屋久島へ行ってきました。自然に立ち向か
い、逞しく生きる木々の前では、素直な気
持ちになりました。コロナ終息まで、まだ
時間がかかりそうですが、希望は捨てず、
前向きに生きていきたいですね、だって。
スゴ〜イ、屋久島のポストカードに載せて
〜。

●浜松市の鈴木偉代メダカ。この夏はコロ
ナでどこへも行けず。腰痛に悩まされ、孫
の子守りと大変でした。仕事をしていると
涼しくて、気も張って、帰るとグツタリで
すが、仕事ができる倅を感じています。
お元気になった菅原先生にお会いしてお
話を聞ける事楽しみにしています。9月3日、休
みをとれたので出席いたします、だって。い
や、嬉しいね。お疲れのなか休みをとって
出席してくれて。菅原先生のお話も聞けて
〜。みんなと会えて、良かった良かった、
デスね。

●周智郡森町の榊原淑友メダカ。日本国の
元総理大臣が殺害される、平和慣れした日
本では考えられないことが発生しました。
中国による排他的経済水域へのミサイル

着弾、日本だけが安全で平和を享受できる時期は終わったのかもしれない。本当の意味で日本にしかできない平和外交の時間が来ています。だって。ほんただね。私たちができることはなんだろう？考えちゃうね。

●浜松市の藤波公子メダカ。8月2日ワクチン接種後、左足が丸太のようになり、お盆休み（病院）もありで受診が遅くなり、結果は上皇様と同じ病名であり、肺塞栓につながります。の診断：怒り、笑い：のところに、めだかの便りが届き、とても落ち着くことができました。めだかの便り111号を読み返し、浜松の「白尾様」の知人の川柳を大きな声で読み上げ、「ワッハッハ：！」自分とそっくり、一人で笑みがこぼれました。村田徳治校長訓話も、その通り日本は遅い！。45歳からのパソコンは私も大変でしたが、今はとても良かったり、助かっております。字を書いたりが大変。パソコンは右手だけです。文明の速さは流れ星のごとく、日進ですね。（以下略）だって。いや〜大変でしたね。めだかの便りが役にたつて良かったです。

●掛川市の鈴木佳子さん（故鈴木武史メダカの奥さん）。いつもめだかの便りをお送りくださりありがとうございます。皆さんのパワーをいただいています。だって。早いもので、武ちゃんも亡くなられてからもう2年になるんだね。佳子さんもめだかの学校をのぞきにおいでよ。待ってるよ。●島田市の喜瀬川はつ枝メダカ。暑さもコロナもおさまりませんね。でもこの1カ月半は孫（カナダの）が来てくれたので楽しい時間を過ごすことができました。花火を見たり、お菓子を作ったり、食事に行ったり、普段とは違う毎日で、あつという間の1カ月半でした。13日（8月）に成田から帰りました。今はとても寂しいです。だつ

て、分かる分かる。でもお孫さんが来てくれてよかったですね。私たちはLINEのビデオでよくよくニュージールランドの孫とやっている。

●浜松市の水島加寿代メダカ。9月3日参加します！楽しみにしていますね！！「なんだか最近第6感がさえてきているような：！。直観メッセージに敏感になって、そのうち瞬間移動ができるようになるといういなア〜」と思っている夢をみました（笑）、だって。瞬間移動じゃなかったけど（笑）、かわいくて、品のある93歳のしずお母さまと出席。最高！でした。大谷洋介メダカ、鈴木計芳メダカから、いろいろなメダカ生が声かけて：「こんなアットホームのめだかの学校もいいね、次回もデスクの掘り起こしが面白いです。『敷地音頭』が新聞に載ると、『掛塚屋台音頭』を継承したいという人に繋がりました。すると『池田音頭』もあつたはずと、扉が開きました。『三方ヶ原音頭』のテープを地元の人が見てくれました。横のつながりが無いはずなのに、各地の方々から情報が集まってくる不思議さ。これは全て「伝えたい」という思いが先にあり、受け取る人を待っていたように思えます。今後アンテナを大きく広げ、キャッチしていきます。9月3日予鈴前に歌おうと思います。リクエストあり♡、だって。開校前の時間、バックミュージックがあるといいね。良かった。●浜松市の石野裕子メダカ。お変わりありませんか？。四月に母が亡くなり、四十九日法要、初盆を済ませました。あつという間に月日が過ぎていきます。11月3日には『大好き♡笠井文化祭』というイベントを笠井観音で行う予定です。（めだかの便りが届く頃は終わっていますね）。ライブもぼろぼろやっています。めだかの学校で

も是非歌いたいです。だって。『歌』はいねえ〜、特別授業『うたごえメダカ』、それとも『みんなが歌おうめだかコンサート』。私は口パクだけダメ？（笑）

●浜松市の鈴木真弓メダカ。4月と5月に、ギャラリーCAVEでの個展を記録して冊子を作りました。次はいつになるか、3カ月たった頭の中を楽しんでいます。だって。冊子のあいさつの中で、「半月かけて運び入れて、広げて：、眠っていた作品が目覚ますのを待ちつつ：、時を動かして：。この落ち着きのなさ！実働3時間で、いったん休んで、また3時間、写真を撮って帰宅、その繰り返し。結ぶことは簡単な作業、その積み重ねが辛い時間を乗り越えてくれたような気がします。今日からの展示、これがきつとよい区切りになります。全部さらしてしまい、もう一度出発します。実験室のようなこの場所で、長い時間を費やしてきた手仕事の一つ一つを確認します」と。まさに多くの作品群の写真から、積み重ねてきた手仕事の年輪。いや〜、さすがです、ハイ。

●浜松市の中村明男メダカ。達人、吉澤久子著「人生のぜいたく」読む。：年令を気にせず、日々新しい発見を楽しむこと：このワクワク感がたまらないね！、だって。音楽に関わったり、版画をやったり、テニスをやったり、孫の送り迎えをやったりと、元気いっぱい、いいねえ〜ですヨ。●浜松引佐の石野省三メダカ。NPO「ひずるしい鎮玉」は新たに、引佐鎮玉の森に来年4月カフェをオープンすることにしました。コロナの影響で人々の価値観が変化して来ている中、鎮玉地区の豊かな自然が体験できる「しずたまの森」に地元素材を使ったランチの提供をはじめ、講座、イベントなど様々な楽しみ方ができるスペースを考えています。第116回の「めだか

のたより」を借りて、カフェの名称募集をしました。97件の応募をいただきありがとうございます。結果、小学校4年生沢田君の「鎮カフェ」に決定。しました。「しずカフェ」と。読みます。早速、沢田君にくろもじ葉を使ったプレートを食べしてもらいました。感想は好感触でした。今後の予定は10月10日―浜北ALOHAFAIR出店、11月5日―中区尾張町コトバコ出前カフェ、12月3日―体験ワークショップ「山の時間」を予定しています。料理長は磐田から引佐町へ移住予定の方がつとめます。HPやSNSにアップするからよろしく！「たまには『鎮カフェ』いこう。

《新入生紹介》

●群馬県甘楽郡南牧村の松林建メダカ。30年続いている「めだかの学校」には敬服いたします。今年1年間、この学校へ試験的に入学したい。第116回には出席できませんが、みなさまとの交流を楽しみにしています。日ごろの活動についてもメールで寄稿したいと存じます。仲良くして！だって。菅原欽一さんが、これまた30年以上発刊を続けてきた雑誌「かがり火」にて、ライターの仕事をしています。人の話を聞き出すのが得意です。趣味は旅行です。が、ここ2・3年はあまり出歩けず残念、とも。12月3日の第117回は出席するそうです、とのこと。嬉しいね。

x x x x x x x

今回もちょっと頑張っていました。人・ひと・ヒトだよりを多くして、6頁建てにしました。ああ、しんどいでございます。

※お知らせ

今回のめだか春秋はお休みします。

■事務局だより

月日が経つのは早いですね。今年もあと1ヵ月半。めだかの学校も開校30年。いやゝあの頃は若かった。遠足、文化祭、チャリティーコンサート、竹でイカダを作ったの都田川水源まつり、20世紀に足跡を遺そうとフラメンコライブ、民族歌舞団ほうねん座キヤラパン公演、新春特別講演会など、なんやかんやと色々やったねえ。エネルギーが余っていたのかなあ(笑)。

さて、第116回めだかの学校は、平成4年9月3日(土)、校長安形恵子、教頭秋山勝則、用務員中村明男。ちょうど30年目、30期通年テーマも『めだかの学校30年さあ これからもいかにまい』。今回のテーマは『めだかどめだかどどつんこ』。まあ、よく分からんけど、まあいいかと。授業は期初特別授業、菅原欽一先生の社会「思うがままに」。休校、休校で1年ぶりの授業。菅原さんの話を聞きたい、と言う生徒も多かった。前の晩は鈴木正士メダカの所に泊まることと、淑友メダカと田村メダカと、バラメダカと、正士メダカ、差し入れの刺身とぎょうざ、レバーの串、正士さんの手打ちそばなどで菅原さんを囲んで駄弁りあう。菅原さんの体調のこともあり、午後8時には閉会。

3日開校日は、しきじ土曜倶楽部が休みなので早めに会場づくり。玄関前が草でひどかったので、淑友メダカが自宅に草刈り機を取りに行き、みんなが来る前にきれいにしてくれた。11時半ごろからみんなが集まり始める。交流センターから椅子も届いて準備も完了。出席者は33名。



12時30分、時間通りに開校する。めだかの学校の校歌斉唱、なんと伴奏は校長のフルートと、埋田千聡メダカのギター。いいねえ。新入生は、

鷲山記世メダカと八木義弘メダカ。期初のため「建学の精神」を唱和する。お待ち兼ねのお弁当。各自それぞれの場所で、ちよっとおしゃべりしながらの食事、いやゝ美味しかった。お腹もふくらんで、安形校長の訓話。少しだけ話してあとはフルート演奏。いやゝこれもまたいい!!。事務局からのお知らせ。あれ、何話したんだっけ? 第125回は一泊で特別授業をやるのか、と話したような気がするが...

菅原欽一先生の期初特別授業、「思うがままに」。長年にわたつての「かがり火」の話や、居酒屋の社長を引き受けた時の苦労話。心臓病で入院したとき思った、故鈴木武史メダカの生前に書いた手書きの「会葬お礼のハガキの話。『お父さん、こない仕事をしたんだ』。今まで一度も見ていなかった「かがり火」の最終号を見て奥様がおっしゃった、ことなど語る。いい授業だった。

私語飲食全て禁止の『次期三役発表』。校長宮澤博行、教頭大島たまよ、用務員八木義弘。異色? の3役。楽しみでもある。新旧引継ぎでは、宮澤校長早退のため榊原淑友が代理する。「まかせてください」だって。草地博昭メダカが来たので一言しゃべつてもらおう。草地市長

に興味がある新入生がいるので(笑)。みんなで片づけ。椅子を交流センターに返却して閉校となる。「今日の日はさようなら」を歌って、握手して、再会を約束する... ことができないのは淋しいね。コロナウイルスとんでけ!!。



第117回めだかの職員会議を10月8日(土)10時から豊岡東交流センターで開く。会場が図書室で狭いので人数を絞る。出席者は宮澤校長、大島教頭、石野省三、中村明男、埋田千聡、榊原幸雄の6名。第117回のテーマと授業内容を話し合う。色々意見は出したが、今回は台風15号の被害がでたこともあって防災を絡ませた『語り継ぐ防災・防念して忘年しよう』に。防災と忘年会、ちよっとという思いはあるが、まあ、いつか、めだからしくて...

授業は、今回の台風15号で、なんらかの体験をした秋山勝則メダカに。1時間目、社会「九死に一生? あなたならどうする?」。二時間目、音楽「ゆうころん&うめちゃん」石野裕子先生。ちよっと気分を変えて歌おうよ、忘年会時期だし、と決める。後日、服部守孝メダカから「一宮総合センター」OKだから「...」とTELあり。

校舎を旧豊岡東体育館から、従来の『一宮総合センター』に変更する。間違えないでね。



(事務局 バラメダカ)

■第30期の受付をしています。

第30期は、令和4年9月1日から令和5年8月31日までです。10月15日現在71名の生徒が済ませています。まだ済ませて

いない生徒は済ませてね。自主退学にならないように...

■今回も遅れました。ごめんなさい。石野省三メダカ、田村進治メダカ、秋山勝則メダカ、伊藤英雄メダカ、村松達雄メダカ、埋田千聡メダカ、大島たまよメダカ、水島加寿代メダカ、生原稿のメール打ち、ありがとう! まとめてくださる間瀬亮太メダカ、発送などのお手伝い、榊原明美さんいつもありがとう。今回も6頁建ててお手数かけました。感謝です。

■来年は『うさぎ年』楽しい年賀状くださいね。ひとことコメントもつけて! という訳で、次号は8頁建てにします。

次回の発行は、令和5年2月1日予定。締切1月15日です。みなさんの日頃の活動をお手紙・年賀状・FAX・LINE・FBで。メールの方は、
《tabuchi-tracy@rnc.ne.jp》
間瀬亮太090・5009・0986です。
(メールの方は割付の関係もあるので「報告」)

■めだかの学校の事務局

〒438-0105 静岡県磐田市家田5
29番地20 榊原幸雄方 TEL 05
39-62-6691 (FAX 同)
※学舎「一宮総合センター」周智郡森町一
宮3150。電話 0538-89-77
30 開校日の午後4時以降のみ使用可。
携帯 080-1612-9130

